

こころの防災 市民フォーラム

～第3回国連防災会議に向けて～

東日本大震災から4年目を迎え、災害がこころに及ぼす影響の大きさが改めて浮き彫りになりました。こころの健康は災害直後の急性期においても、復興の中でも重要な課題と位置づけられるべきものです。東日本大震災をはじめとする大災害の教訓から私たちは何を学び、次に起こりうる大災害に備えて、こころの健康のために何をなすべきでしょうか。

第3回国連防災世界会議を1か月後に控え、こころの防災、すなわち、災害に備えて、こころの健康のために知っておくべきこと、備えておくべきことについて、市民の皆様と検討する市民フォーラムを開催します。

2/7 sat

13:00 - 17:40 (受付 12:30～)

せんだいメディアテーク

1F オープンスクエア

定員：200名

参加費：無料(事前申込み不要)

※参加申込は当日受付で行いますので、直接会場にお越し下さい。

Program

13:00～13:10 開会挨拶

今村文彦 (東北大学災害科学国際研究所所長)

第1部

「第3回国連防災世界会議に向けて～こころの健康に配慮した防災・減災の体制づくり～」

座長：小野裕一 (東北大学災害科学国際研究所社会連携オフィス国際連携担当 教授)

13:10～13:20 本フォーラムの目指すところ

富田博秋 (東北大学災害科学国際研究所災害精神医学分野 教授)

13:20～13:30 第3回国連防災世界会議～防災の枠組みにおける会議の意義と展望～

柳津英敏 (仙台市国連防災世界会議準備室担当 課長)

13:30～13:40 防災と災害医療支援

江川新一 (東北大学災害科学国際研究所災害医療国際協力学分野 教授)

13:40～13:50 質疑応答

第2部

「東日本大震災におけるこころの健康の“今”～復興期のこころの健康づくりに必要なこと～」

座長：白澤英勝 (みやぎ心のケアセンター センター長、医療法人東北会東北会病院 理事長)

13:50～14:05 宮城の今とこころのケアセンターについて

松本和紀 (みやぎ心のケアセンター副センター長、東北大学大学院医学系研究科予防精神医学寄附講座 准教授)

14:05～14:20 岩手の今と自死対策

大塚耕太郎 (岩手県こころのケアセンター副センター長、岩手医科大学災害・地域精神医学講座 特命教授)

14:20～14:35 福島は今とこれから

藤井千太 (福島県立医科大学医学部災害こころの医学講座 講師)

14:50～15:00 休憩

「災害とこころの健康～特に配慮を要する人のために～」

座長：原敬造 (医療法人社団原クリニック 院長、一般社団法人からこるステーション 代表理事)

15:00～15:15 高齢者・障がい者のこころの健康

高橋晶 (筑波大学災害精神支援学講座 講師)

15:15～15:30 こどものこころの健康

本間博彰 (宮城県子ども総合センター 所長)

15:30～15:45 震災時の在日外国人への支援

鶴川晃 (大正大学人間学部人間環境学科 専任講師)

15:45～15:55 質疑応答

第4部

「今日からはじめるこころの防災～次に起こり得る大災害に備えて～」

座長：松岡洋夫 (東北大学大学院医学研究科精神神経学分野 教授)

15:55～16:10 災害時の復旧・支援の従事者について考慮すべきこと

重村淳 (防衛医科大学校精神科学講座 准教授)

16:10～16:25 次に災害が起きたら

金吉晴 (国立精神・神経医療研究センター 災害時こころの情報支援センター センター長、成人精神保健研究部 部長)

16:25～16:35 質疑応答

第5部

「総合討論」

座長：富田博秋 (東北大学災害科学国際研究所災害精神医学分野 教授)

16:35～17:40 みんなで考えるこころの防災

せんだいメディアテーク
1F オープンスクエア
仙台市青葉区春日町 2-1

